

シート・フィルム材、 精密打ち抜き加工

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリー技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



高精度位置決めで打ち抜くプレス加工ライン

業務内容
独自技術でICカード用や、
放熱基板用が好調

非鉄・樹脂・フィルム・基板など、薄いシート・フィルムに印刷・エッチング加工された材料を精密に打ち抜く加工会社。特に厚さ1mm以下の材料の打ち抜きを得意とする。さまざまな加工法のノウハウを持ち、金型、プレス、刃型、ロール、レーザーなど各種の設備を備える。

先進のニーズに積極的に対応し、現在は非接触式ICカード用のアンテナ、半導体パワーデバイス用の放熱基板などの受注が好調。車載用の実装基板など、得意とする精密打ち抜きで、常に新たな仕事に挑戦している。枚葉フィルムの金型打ち抜きの自動化など、他社がまねできない差別化工法を複数有している。

強み
位置決め精度の新技术、
「1mmも可能」

大手メーカーや、技術力を持つ中小企業と連携し、新たな加工法を生み出す実力がある。最近開発したのが、金型とロボット、カメラの画像処理を組み合わせ、位置決め精度が5μm〜10μmの打ち抜き加工。従来限界だった50μm水準から、大きく上回る精度を実現した。「技術的には最高1mmの精度まで対応できる」と田中社長は語る。また、放熱基板の加工では金型の工夫でバリを出さず、金型のコーティングに工夫を凝らして量産を可能にした。加工品は原則として全数検査し、機械でのチェックと熟練パート社員の見視によるダブルチェック体制を整えている。

少数鋭
正社員は少数主義、
パート社員は多能工

正社員は5名で、少数精鋭主義をとっている。正社員に要求するのは管理者能力で、各種の

管理者研修に参加を促し、品質管理と作業者の管理の力を向上させるよう後押ししている。現場の機械化を推進するのと併せ、パート社員を多能工に育てて、全員が最終外観検査の社内資格を身につけるようにしている。

「平成12年頃、ICカードの仕事が始めてから品質管理の徹底を意識した。人材の採用は技術系にこだわらず、入社してからしっかり勉強してもらおう」と田中社長は語る。ICカードの検査は機械と目視でチェックし、1億枚超を出荷してクレームゼロを実現している。

後の展望
精密に照準、
独立独歩の姿勢貫く

当面の注力テーマは高精度の打ち抜き技術を幅広く応用展開すること。まずは自動車向けを狙いつつ、工業系や医療系の分野で1mmレベルの位置決め精度のニーズを注意深く探っている。特殊な加工技術を売り込むため、営業活動は先端技術者との人脈づくり、試験研究機関などとの接点づくりを重視し、顧客開拓を進めている。

経営面では中小企業の長所・短所を踏まえ、受託加工の業態を堅持する方針。規模拡大よりも自身の充実し力点を置き、「独立独歩のスタイルを今後も守りたい」と田中社長は語る。競争に巻き込まれることを嫌い、そのために差別化した技術を追求め続ける考え。



クリーンルームでの外観目視検査



クリーンルームでの打ち抜き加工

当社の歴史



創業時は銘板の製作業で、その後にプリント配線板の加工を手がけました。家電の仕事を経て、平成12年頃にICカードの仕事が始まりました。多くの大手メーカーの開発部隊の皆様とともに、開発の当初から構想の具現化に向けて幾多の波を乗り越え、ともに喜びをかみしめてまいりました。

代表取締役 田中 洋美さん

<http://sankogiken.com/>

大阪28 ISO 9001

主な事業内容

基板・非鉄金属・樹脂などの精密プレス加工および電気・外観検査

主な取引先(納入先)

大手化学樹脂メーカー、大手アルミ素材メーカー、大手弱電メーカー、大手タッチパネルメーカー

- 住所 〒578-0932 東大阪市 玉串町東3-5-38
- TEL 072-964-3204
- FAX 072-964-2748
- 創業 昭和51年5月
- 設立 昭和60年5月
- 資本金 2,000万円
- 従業員 30名